

Osaka Metro、全乗務員のiPad導入とFileMakerでの自社開発で社内イノベーション

大阪市高速電気軌道株式会社 (Osaka Metro) では、民営化後1年半の間に、FileMakerを使って8種ものカスタムAppを自社で開発。全乗務員へiPadを配布して、乗務員の労働環境改善、安全対策の強化を実現しました。

<背景>

乗務員はこれまでさまざまなファイルの入ったカバンを携行していたが、その負担を軽減するためにファイルを電子化しようと考えたのが導入のきっかけ。民営化のタイミングで社内イノベーションを起こそうという機運も高まり、全乗務員へのiPad配布と、日本語でスクリプトを記述できるFileMakerの導入を決めた。

<導入>

FileMakerによる開発は運転課が中心となっており、弊社は環境構築を始め、システムの信頼性・可用性を高める点での技術的なサポートを行う体制とした。FileMakerの応用的な技術については、弊社の技術コンサルティングで補強。またLINE WORKSとの連携や、eラーニングシステムなど高度な技術を要するカスタムAppは弊社が開発。1年半という短期間で8種ものカスタムAppを完成させ、現在運用されている。

<開発したシステム>

- アカウント管理
- 運行情報通知 (LINE WORKS 連携)
- 始業点呼管理
- 審査システム
- eラーニング
- 事故の芽管理
- 画像共有
- アルコールチェッカー



<導入後の効果>

業務効率化による乗務員の負荷軽減、リアルタイムな情報共有による安全性の向上など、目に見えて効果が出ている。これだけのシステムを1年で稼働させることができたのは、現場を知っている者がシステム開発した点が大きい。そのためのツールとして、柔軟で容易に開発できるFileMakerがマッチしたと考えている。Osaka Metroでは、さらなるサービスや安全性の向上のためにイノベーションを起こしていかなければならないと考えており、これからもFileMaker、iPadを活用して次世代の鉄道システムを構築していく。

<システム基本情報>

ユーザー数：約1,200名

システム構成：FileMaker Server / FileMaker Pro / FileMaker Go / FileMaker iOS App SDK (FIAS)

ハードウェア：iPad 1,150台 / MacBook Pro 2台 (開発用) / Windows PC 200台 / FileMaker Cloud for AWS

他システムとの連携：LINE WORKSとの連携 (API 接続) / アルコールチェッカーアプリとの連携 (Bluetooth 接続)

導入事例 Web URL：<https://kotovuki.co.jp/archives/9316>

本件に関するお問い合わせ

株式会社寿商会 システム部 (Email：contact@kotovuki.co.jp / 電話：03-6225-2872)

